

39 元慶寺 (かんけいじ・かんぎょうじ)

山科には平安時代に多くの貴族の寺院が造られました。その一つが元慶寺で、陽成天皇の誕生に際し、僧正遍昭(照)が発願したものとされています。天台宗の寺で、八六八年に建立され、年号(元慶)を寺名とした年号寺です。応仁文明の乱で荒廃しましたが、その後再建され、そのことを記念した石碑も境内に残っています。

また、本堂の扉には「菊」の紋が付けられており、天皇家との深いつながりを伺わせます。「花山天皇出家の地」としても有名です。本尊は薬師如来で、お堂には遍昭僧正の木像や、花山天皇の画像も安置されています。また門は「竜宮造りの門」として知られています。



元慶寺は「西国三十三カ所番外」として関西一円から巡礼者が訪れています。三十六歌仙の一人である遍昭の歌碑もあります。

40 JR東山トンネル洞門石額

JR東山トンネルの花山側洞門に「古今相照」「山紫水明」の石額が掲げられています。この東山トンネルを掘り進めるのには、なかなかの難工事だったらしく、一九一四(大正三)年二月から工事が始まったにもかかわらず、貫通したのは、一九二二(大正一〇)年で、現線路開通の寸前に間に合ったものです。



41 六所神社(北花山)

北花山の六所神社は、平安時代の八八七年に遍昭の勧請によって造られました。六所神社は平成になって大改築が行われ現在に至っています。

この六所神社から東方を見ると東海道線の線路がS字形カーブを描くすばらしい景観が広がっています。

です。S字形にしたのは長い貨物列車などがスムーズに止まれるように工夫されているからだそうです。区民誇りの木(スタジイ)も見られます。



42 北花山水路記念碑(東山用水)

山科疏水が完成し、その分水路が三力所(四ノ宮・音羽地域、安朱・竹鼻地域、日ノ岡・花山地域)につくられることにより、琵琶湖の水が山科の田畑を潤すことになりました。こうした諸工事のおかげで、山科地域は永年の水不足から解放されて、農業生産量も新たに向上していくことになったのです。



この工事を記念して「北花山水路記念碑」が一九九六(明治九九)

年建立されました。それによれば水路建設は、日ノ岡・北花山・上花山・川田・西野山地域の五村に農業用水を得るために、一八九一(明治二四)年七月から翌年二月にかけての大工事であったといえます。この北花山水路は、現在も花山地域を北から南へと流れ、田畑を潤しています。

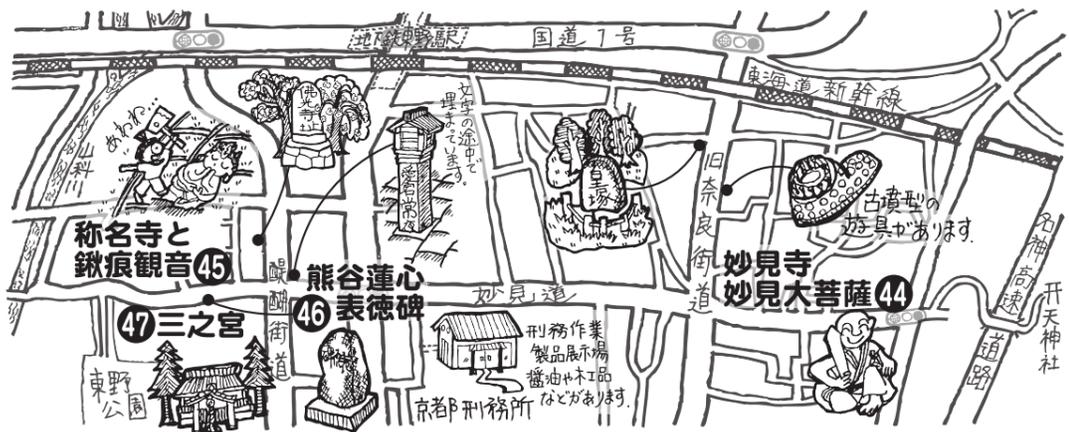
43 花山洞

一九〇三(明治二八)年四月に完成した「渋谷隧道」(花山洞)で、この渋谷隧道は、現在国道号東山トンネルの北側に平行して現存し、通行も可能です。この渋谷峠は昔は「汁谷」とも書かれたように、水はけが悪く交通の難所でした。そこでこの花山洞が建設されたのでした。トンネル入口に「花山洞」の洞門石額があります。



(四) 妙見道

みょうけんみち



「妙見信仰」で有名な妙見寺への参道を「妙見道」と呼んでいます。「妙見信仰」とは、寿福・開運・厄除けのご利益があるとされ、特に江戸時代には「妙見菩薩は眼の病が治る」と、眼病祈願の人々が多く訪れたといわれています。

44 妙見寺・妙見大菩薩

日蓮宗護法山妙見寺は、江戸時代中期に妙見信仰で賑わった所です。「妙見信仰」の原型は、北辰あるいは北斗七星を神格化した妙見大菩薩で、その姿は玄武(空想上の亀)北を意味する)に乗っているものが多く、平安遷都にあたって都の四方を守護する意味で、東西南北に四つの妙見寺が建立されたといわれています。北は船山の靈巖寺(現存せず)、東は山科大塚の妙見寺とされています(西・南は不明)。



45 称名寺と鍬形(鍬痕)観音

称名寺は浄土宗西山禅林派に属し、禅林寺(永観堂)の末寺です。寺伝によれば創建は一六六一年、松

声上人の開基で称(稱)名寺と名づけられたとのこと。昔から十一面千手観音像は「鍬形(痕)観音」と呼ばれ信仰されてきました。その昔、小山地域の十住心院に安置されていた千手観音が、土石流で流されてしまいました。それが東野で見つかった、一度は元の寺に帰ったようですが、再び東野まで流されてしまったとのこと。



46 熊谷蓮心表徳碑

東野・西雲寺の門前に表徳碑(熊谷蓮心表徳碑)があります。

熊谷蓮心は寺町通姉小路角で薬種業鳩居堂を営んだ熊谷家四代当主であり、種痘の普及、飢饉救済などに尽力した人です。蓮心は東野村に牛馬放牧場を設け、年若い



て屠殺されるだけの牛馬を養い、東野村地域の発展にも寄与しました。碑は東野村民がこの功績を顕彰するものです。

47 三之宮

三之宮は平安時代前期に三之宮大明神として創建されました。三九六(元弘)年以後小松天皇より大般若経六百巻が下賜され、その転読会から山科七郷の結束が強まったといわれています。七郷の各地で会合が行われ、野村郷(現在の西野・東野)の三之宮がその中心的役割を果たしました。今も宝物庫には、大般若経六百巻が納められています。



東野)の三之宮がその中心的役割を果たしました。今も宝物庫には、大般若経六百巻が納められています。